

See you there!

七飯町・東大沼エリア

今回のフォーラムが開かれる七飯町は函館に近く、明治に入ってからすぐに西洋型の農業が始まるなど、北海道でも比較的早くから開拓が行われてきた地域です。そして、北海道新幹線の開通など、今でも未来に向かって変化を続けています。そのためか、北海道の雄大さと古き良き日本の田舎の景観を併せ持った不思議な町ともいえるのです。大沼の美しい景観だけではなく、「懐かしい未来」を感じられる七飯町を、ぜひこの機会に楽しんでください。そして、森のようちえんという手法で、日本の新たな社会を開拓していきましょう!



Access

全体会場である**南北海道大沼婦人会館・林業研修センター**へお集まりください。大沼周辺の**宿泊及び分科会会場**には、**実行委員会**で準備する車両で送迎いたします。

会場周辺エリア



- A 南北海道大沼婦人会館・林業研修センター** 駅から徒歩5分
(パンフレット中では「婦人会館」と表記しています)
全大会 (4日・6日) 基調講演 (4日) 分科会 情報交換会 (5日)
託児 (4日・5日・6日) 体験プログラム (5日・6日)
- B 大沼国際セミナーハウス** 婦人会館から車で10分
分科会 託児 (5日)
- C 大沼流山牧場 Paard Musée (パド・ミュゼ)** 婦人会館から車で10分
分科会 託児 (5日) 体験プログラム (4日) 宿泊提供 (4日・5日)
- ポロト館 (バス停)**
路線バス停車場 婦人会館まで徒歩8分

会場へのアクセス

| | |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| JRで | ① JR大沼公園駅 (特急スーパー北斗・北斗停車駅) 下車徒歩5分 |
| | ② JR函館駅から特急で約22分~30分 (1,680円) 普通列車で47分 (540円) |
| 路線バスで | ① JR新函館北斗駅 (北海道新幹線・特急スーパー北斗・北斗停車駅) より路線バス (大沼交通 大人720円小人360円) で約30分→「大沼公園ポロト館前」下車徒歩8分 |
| | ② 函館空港から路線バス (大沼交通 大人1,240円小人620円) で約70分 |

| | |
|--------|------------------------------------------------|
| 飛行機で | ① 最寄り空港は、函館空港です。 |
| | ② 新千歳空港からだ、快速エアポート・ 特急スーパー北斗 or 北斗に乗って約180分 |
| レンタカーで | ① 函館空港から 産業道路・函館新道・ 国道5号線経由で約45分 |
| | ② JR新函館北斗駅から 国道5号線経由で約15分 |

北海道新幹線も!

今年3月26日、ついに津軽海峡を渡り、青森~新函館北斗まで開通した北海道新幹線。東京からは1日10往復、片道最短4時間2分で結んでいます。これを機に、ぜひ新幹線でお越しください!

Information

●申し込みについて

【参加対象】幼児教育・保育・子育て支援関係者、行政関係者、研究者・学生、青少年教育施設職員、自然体験活動団体や森林環境教育団体等のスタッフ、森のようちえんに関心のある方

【定員】全日程参加定員 200名 / 日帰り参加定員 50名 (各日)

【申込み】ホームページ内の専用申し込みフォームよりお申し込みください。

- 全日程参加 (ネットワーク会員) 9/1 (木)
- 全日程参加 (一般) 9/8 (木)
- 日帰り参加 9/15 (木)

申込フォーム <http://forum2016.morinoyouchien.org>

●申し込み締め切り 10/19 (水)

※先着順です。定員になり次第締め切りとなります (参加決定及び二次案内を送付します)。
「分科会」の参加決定は事務局で調整・決定します。

※宿泊について 今回のフォーラムでは、各自で宿泊場所を手配・予約していただくことになっております。下記情報を参考にしてください。

【七飯大沼国際観光コンベンション協会HP】大沼地域の宿泊場所を掲載しております。 <http://onumakouen.com/>

【Paard Musée内 簡易宿泊棟】 Paard Muséeへ電話またはメールで申込 TEL: 0138-67-3339 Mail: info@paardmusee.com ※森のようちえん全国フォーラムに参加の旨をお申し出下さい。(担当: 北川)
【大沼プリンスホテル】 大沼プリンスホテルへ電話申込 TEL: 0138-67-1111 ※森のようちえん全国フォーラムに参加の旨をお申し出下さい。(担当: 営業部 田口)

※フリー分科会について フリー分科会は、ナイトセッション (4日夜) で行われる30~45分程度のセッションです。

フリー分科会を開設したい方は参加申込み時にお申し出ください。開設の可否については実行委員よりご連絡します。分科会の内容は参加者に参加決定通知とともにお知らせします。分科会の参加については、フォーラム当日に参加希望を募り、調整します。

●お問い合わせについて

第12回 森のようちえん全国交流フォーラム in 北海道実行委員会事務局

〒053-0047 北海道苫小牧市泉町1-5-6 特定非営利活動法人いぶり自然学校内 <http://morinoyouchien.org/> (森のようちえん全国ネットワーク)

☎ 0144-82-7860 ✉ moriyouforum2016inhokkaido@gmail.com



森のようちえんで開拓する。

森のようちえんを開拓する。



第12回
全国交流
フォーラム
2016
in 北海道
11/4fri-6sun
at 北海道亀田郡七飯町大沼エリア

【主催】第12回 森のようちえん全国交流フォーラム in 北海道実行委員会
森のようちえん全国ネットワーク

【共催】公益社団法人国土緑化推進機構

【後援】内閣府 文部科学省 厚生労働省 林野庁 北海道 北海道教育委員会 七飯町 七飯町教育委員会 北斗市 北斗市教育委員会 函館市 函館市教育委員会 公益社団法人北海道私立幼稚園協会 一般社団法人七飯大沼国際観光コンベンション協会
【特別協賛】一般財団法人セブン-イレブン記念財団 【協賛】コーラルマンジャパン株式会社 株式会社モンベル 【協力】パタゴニア日本支社

Welcome!

森のようちえんって
どこまで高められるだろう。
森のようちえんって、
どこまで広げられるだろう。

一步先行く、森のようちえんに出会ってみませんか？

【森のようちえん】が気になる人々すべてをつなげ、広げ、開拓する全国交流フォーラムを、
今年は北の大地・北海道で開催します。

今年3月、北海道史における「開拓」という劇的な試みが初めて展開された道南・七飯町において、北海道新幹線開通という新たな開拓がなされました。その先人の熱き思いを引き継ぎ、今度は北海道から発信される森のようちえんが、社会を、日本を、世界を開拓しましょう。多くの方が道南・大沼にお越しになることを心よりお待ちしております。

Schedule

北海道で、森のようちえんの、何を学ぶ？

day1(11/4 fri)

- 13:00 **開会式**
主催者から歓迎の挨拶
- 13:30 **基調講演**
「森のようちえんの【前】と【前】」
どさんこミュージゼ(株) 宮本英樹
- 14:10 **基調報告**
「森のようちえん」を取り巻く最新情勢
公益社団法人国土緑化推進機構 梶谷辰哉
- 14:40 **パネルディスカッション**
協働で拓く「森のようちえん」の未来
森のようちえん全国ネットワーク 内田幸一
どさんこミュージゼ(株) 宮本英樹
公益社団法人国土緑化推進機構 梶谷辰哉
- 15:40 **オリエンテーション**
「参加者が自律的に学びを取りに行く」という今後のフォーラムのあり方を理解します。
- 16:00 各宿舎へ移動 チェックイン
- 18:30 **ナイトセッション**
「親子に優しい情報交換会」
Paard Muséeにて、夕食付き
焚き火ゾーン・フリー分科会・PRゾーンを設置。楽しみながら交流を。
- 21:00 **終了**

会場 Paard Musée

あなたが、あなたの森のようちえんを見つめなおす

day2(11/5 sat)

- 9:00 **分科会 A**
 - 10:40 移動・休憩
 - 11:30 **分科会 B**
 - 13:10 昼食・移動
 - 14:30 **分科会 C**
- 分科会会場：
●婦人会館
●国際セミナーハウス
●Paard Musée
分科会会場は3会場ございます。ご確認の上、移動してください。

会場 婦人会館

- 16:10 移動・休憩
- 18:30 **夕食・情報交換会**
- 20:30 **終了**
※会場は23時まで開いておりますので、適宜情報交換を続けられます。宿舎へは、随時お戻りいただけます。

あなたが、あなたの森のようちえんを生み出す

day3(11/6 sun)

- 9:00 **全体会**
①各団体より
情報提供とリレートーク
「それぞれのセクターのキーパーソンは、次に何を企てている？」
- 9:50 ②参加型振り返りとアクション宣言
●森のようちえんに期待する方からのエール
●参加者同士による成果発表と共有
・私が決めたゴール
・私が取り組むアクションプラン
- 10:50 **閉会式**
主催者からの挨拶
次回開催地の紹介
- 11:20 事務連絡
・解散後のインフォメーション
- 11:30 **解散**
- 13:00 全国ネットワーク総会

会場 婦人会館

Programs for Kids

●自然体験プログラム 幼児(3歳)~小学生

Paard Muséeスタッフによる「野遊び」牧場のこども園を実施いたします。牧場に暮らしている子ども、おとな、地域の方、そして動物たちとの暮らしをテーマにしたプログラムです。参加希望の方は、事前にお申込みください(有料/定員:幼児20名、小学生15名)。

- 11/4 「野遊び」 婦人会館隣もしくは大沼公園周辺 (13:00~16:00)
 - 11/5 「牧場のこども園」 大沼山牧場Paard Musée内 (8:30~16:10)
 - 11/6 「野遊び」 婦人会館隣もしくは大沼公園周辺 (9:00~11:30)
- ※プログラムは、天候状況などにより変更することがあります。
※料金は「参加費について」をご参照ください。

●託児 1~2歳

プログラム実施中は地元の方にご協力いただき、1~2歳児の託児ができる体制を整えております。ご希望の方は事前にお申込みください(無料)。

- 11/4 婦人会館 (13:00~16:00)
- 11/5 各分科会会場 (8:30~10:40、11:00~13:10、14:00~16:10)
- 11/6 婦人会館 (8:30~11:30)

Keynote speech & Sessions

●基調講演

森のようちえんの【前】と【前】
宮本英樹
どさんこミュージゼ(株)代表取締役社長



北海道における「森のようちえん」の仕掛け人であり、現在は牧場経営者である宮本氏。幼児向け自然体験活動「森のようちえん」をとことんまで追求した結果、牧場経営に行き着いた、というユニークなプロセスを歩んでいらっしゃいます。「今まで」の森のようちえんと「今」の森のようちえんについてお話しいただき、「これから」についての創造的な思考を引き出すようなお話をさせていただきます。

●分科会 A (9:00~10:40)

A1 森のようちえんの社会化①「北海道型」
~既存幼稚園による「森のようちえん」的活動の展開 札幌トモエ幼稚園・恵庭幼稚園の実践から~
宮武大和 学校法人創造の森学園札幌トモエ幼稚園
井内 聖学法人リズム学園(恵庭幼稚園・はやた子ども園)
上田 融 NPO 法人いぶり自然学校
家族と一緒に登園できる環境をつくる幼稚園、地域の森林で自然体験活動をする幼稚園、このような取り組みから、北海道特有の「森のようちえん」の社会化」のヒントを探ります。

A5 森のようちえん 父ちゃんプロジェクト
~父性の関わりを考えよう~
萩原寛暢 ましかが自然学校
森のようちえんに関わる「父ちゃん」に焦点を当て、主夫が運営する森のようちえんの事例から、森のようちえんに「父ちゃん」がどう参画していけるのかを考えていきます。参加者のみなさんと様々な想いを共有しつつ、ゆるやかな父ちゃんネットワークの輪を作りましょう！

A2 森のようちえんの運営と管理
内田幸一 森のようちえん全国ネットワーク 飯網高原ネイチャーセンター
森のようちえんを作りたい方のための具体的なノウハウとそれを運営して行くための様々な問題をどう解決して行くのかについてお話しします。たくさんの質問、悩みを持ち込んでください。

A6 リスクの発見と対処
~活動の充実と信頼を勝ち取るために~
葛谷久雄 NPO 法人国際自然大学校
田中幸一 (公財)日本アウトワード・バウンド協会
森の活動にどんなリスクが潜んでいるのか、スタッフ間で共通認識を持っていますか？実際に活動をシュミレーションしながら、リスクの洗い出し方法と危険予知についてワークショップ形式にて考えます。

A3 「森のようちえん」での子どもの発達保証を考える
~子育て応援が育まざるま2才児の森のようちえん「トコトコらぶ」の実践から~
山田智子 NPO 法人子育て応援が育まざるま代表理事・札幌大谷大学短期大学部保育科非常勤講師
発達保証とは、能力の獲得と人格形成を統一的にとらえる発達観です。今回は森のようちえんについて、子どもの発達保証という角度から考えます。

A7 馬とのコミュニケーション
山住弘明 Paard Musée
ホースプログラムインストラクター
馬とのコミュニケーションとは？馬の事を知ること、動き方など、「グラウンドワーク」を通じて学びます。馬とのコミュニケーションを通じ、馬に学ぶことで、自分自身の考え方や他者との関わりなどが変化していきます。

A4 牧場で育まれる3つのもの
~牧場のこども園スーホの取り組み~
高橋諭子 Paard Musée
こども園スーホ
動物と一緒に暮らすことは、非言語コミュニケーション力が高まり、身体のバランスがとれ、自尊心が育つ効果を感じています。当日は牧場の現場でその手法や特徴、可能性を考えます。「牧場型森のようちえん」の提案です。

A8 森で歌おう！奏でよう！
~うくしと手作り楽器で音を楽しむ~
小林直美 森のたんけんたい
歌は「声」でどこでも楽しむことができます。声の他にも、いろいろな音があるとまた音楽の楽しみが広がります。今回は身近な素材で簡単な楽器を作って、一緒に歌い、奏でましょう。

●分科会 B (11:30~13:10)

B1 森のようちえんの社会化②「長野型」
~森のようちえんは境界線を越えることができるのか？社会化の過程から考える~
小林成親 山の遊び舎 はらへこ
小菅江美 NPO法人はらへこの学校森のようちえんてく
山口美和 長野県短期大学
竹内延彦 長野県県民文化部次世代サポート課
長野県独自の取組みの中で「子どもと自然」ということに心を寄せることができた過程を振り返りながら、これからのありようを、最新の状況も交えながら考えていきます。

B5 「見守り、待つ保育」のプロセスをのぞく
野澤俊彦 森のようちえんさんぽみち NPO法人ネイチャーマジック
森のようちえんの保育において、「待つ」や「見守る」ということに、多くの方が頭を悩ませ議論してきました。では一体なぜ、悩むのでしょうか。そこにヒントがあるような気がします。

B2 自然体験業界と保育業界+行政との協働事例の掘り起こし
田中佳幸 NPO 法人あそびんちゅスクール
札幌市西区がまちづくりの一環として行っている区内の幼稚園や保育園への自然体験活動指導者の派遣事業「エコキッズ・プログラム」を例に、自然体験指導者(自然学校)と保育者(幼稚園・保育所)+行政の協働の可能性を探ります。

B6 ヒヤリ・ハットから学ぶ！現場のリスクマネジメント
中能孝則 (公財)社会教育協会
日野社会教育センター
ヒヤリ・ハットを取り除けば大きな事故を防ぐことに大いに役に立ちます。それを大人が取り除くことも大切ですが、それ以上に子ども自らそのことに気がつくことができるようになってほしいものです。

B3 地域と共に育む 木育・食育・自然教育
~育ちあう「森のようちえん」を目指して~
斎藤恵 認定こども園どんぐり
本園が創立当初から掲げてきた「木育・食育・自然教育」の3本柱を軸に、森のようちえんを展開する中で、地域に支えられる保育活動をご紹介すると共に、それぞれの「森のようちえん」について考えてみたいと思います。

B7 馬の力に頼った森づくり
~馬と一緒に森づくりをしよう~
加藤京子 Paard Musée 大沼山森づくりネットワーク
西望将世 Paard Musée ワーキングホースインストラクター
私たちは、馬が森を育ててくれるという仕組みを提案します。森に馬がいることによって、子ども達が森づくりの現場に入りやすくなり、森林の持続可能性の確保につながることを体験を通じてご紹介します。

C4 子ども達が輝く「場」ってどんなところ？
~日本最北の森のようちえんと一緒に考えよう！~
伊藤輝之 ゆうち自然学校
「ゆうち自然学校」の実践例を紹介しつつ、「子どもの遊びとは何か？」「どんな場が必要か？」「それを支援するとは？」にフォーカスをあて「笑顔があふれ、学びが多い森のようちえんの方法論」を考えます。

B8 ロープ1本で作り出す森遊び
~森で役立つロープワークの基本と実践~
田中幸一 (公財)日本アウトワード・バウンド協会
確かなロープワークを学んだことがありますか？ちょっとした基本を知っていたら、道具を工夫するだけで、あなたはもうロープの魔術師。ロープを使ってより安全に楽しく活動を実践していきましょう。

●分科会 C (14:30~16:10)

C1 森のようちえんの社会化③「鳥取型」
~豊かな子育てと地方創生につなぐ「森のようちえん」認証制度~
鳥取県子育て王国推進局
西村泉子 NPO 法人智障児童のようちえんまるたんぽう
木原知大 公益社団法人国土緑化推進機構
森のようちえんの先進地、鳥取から最新の情報を発信してもらおうほか、森のようちえんをきっかけとした移住事例から、森のようちえんと地方創生の可能性を探ります。

C5 森のようちえん実践例
~様々な想いとカタチと子どもの育ち~
野村直子 new education LittleTree
沼倉幸子 (一社)森のようちえんはっぴー
佐藤有里 森のようちえん 谷保のそらっこ
森のようちえんの3名の実践者が、日常型海辺の活動・都市の畑を利用した活動・乳児を対象とした活動・週1回の活動などの実践事例を紹介いたします。

C2 世界の森のようちえん
横田聖美 バンビーノの森
中能孝則 (公財)社会教育協会 日野社会教育センター
関山隆一 NPO 法人もあなキッズ自然楽校
小菅江美 NPO 法人はらへこの学校森のようちえんてく
森のようちえん発祥の地と言われるデンマークと、森のようちえんに注目が集まり始めたカナダの、森のようちえんや子育て事情などを紹介いたします。

C6 実践者と語る
森のようちえんが大切にしたいこと
~森のようちえんのコンセプト分析を交えて~
森のようちえんの実践者が大切にしているコンセプトに基づき保育・教育手法を明らかにするための事例を報告し、森のようちえんの特徴的な指導論の意見交換を行います。

C3 子ども・子育て支援新制度の保育の質の確保と森のようちえんの役割について考える
~画題を魅力的な子育てができる街にするための森のようちえんの活用法~
穴澤剛行 (一社)子どものチカラ研究会北海道支部
函館つくしの子保育園の実践例を基にしながら、2号3号認定の子ども達が通う保育所や認定子ども園が森のようちえんに取組む際の制度的実務的課題を抽出します。

C7 ホースセラピーって何だろう？
渡部真子 Paard Musée ホースセラピスト
萩野佳奈 Paard Musée ホースセラピー事業管理責任者
馬との関わりや暮らしを中心とした、牧場の暮らしのセラピーをご紹介します。感覚統合理論をベースとしたホースセラピーについて座学と体験を通じ、運動や生きる力への効果を感じていただけます。

C4 森のようちえんにスポンサーをつけるには
森清史 福山醸造株式会社企画広報課課長
企業スポンサーによる森のようちえんの継続運営に向けて、アニマドーレの事例から、その成果と課題を共有し、企業スポンサーの可能性を考えます。企業が支援したくなる森のようちえんの体裁や条件、価値とは何かを考えます。

C8 北海道の函館周辺地域における木育活動の事例報告と木育体験
早坂健二 北海道木育マイスター
手軽にできるものから、ダイナミックなものまで手がける、道南地域における木育マイスターの活動事例を紹介します。木育の一部を体験して頂きながら、今後の活動に活かす意見交換がしたいと考えています。

●クロージング

ふりかえり みなさん、明日から何に取り組みますか？
森のようちえん全国交流フォーラム in 北海道実行委員会

フォーラムに参加して得たことや感じたこと、あるいは新たな疑問などを話し合います。そして「自分の町に戻ったら、早速これをする、あれに取り組む」という自身のアクションを考えましょう。

明日は
木のようちえんのために
がんばります！

